

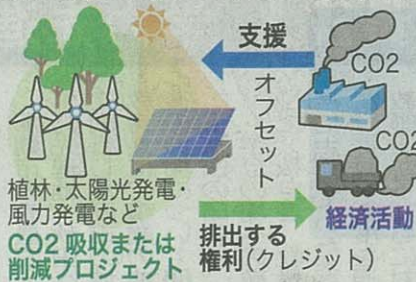
# CO<sub>2</sub>削減で生物保護

## 環境センター寄付制度

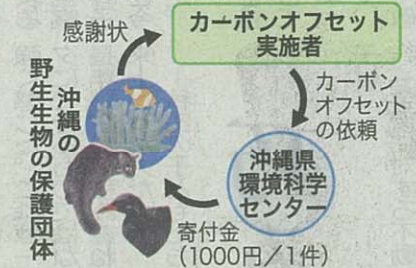
一般財団法人・県環境科学センター(浦添市)は、温室効果ガスの排出量を試算し削減活動の支援で排出を相殺する「カーボンオフセット」を利用して、野生生物保護も目指す寄付制度を10月から始めた。企業が県環境科学センターに依頼してカーボンオフセットを

実施するたび、県内で活動する野生生物の保護団体に寄付金(1件につき千円)が入る。企業に感謝状が贈られ、企業のPR活動にも利用できる。

### カーボンオフセットの仕組み



### 寄付制度の仕組み



「NPO法人トラ・ゾウ保護基金」、県自然保護課が事務局を担う「県サンゴ礁保全推進協議会」の3団体。寄付制度を利用したい企業は寄付先を一つ選ぶ。県環境科学センターの福村圭介代表理事は「カーボンオフセットで温暖化防止に加え、生物保護にも貢献

できる。環境保護に積極的  
に取り組んでいるという企  
業のPR効果も期待でき  
る」と語り、利用を呼び掛  
けた。

**用語** カーボンオフセット 企業活動や生活に伴って発生し、削減が難しい温室効果ガス排出を、自然エネルギー利用や森林保護など別の場所で実施された削減事業に資金を提供することで埋め合わせる仕組み。二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)に換算した「クレジット」と呼ばれる証書の形で取引される。日本では環境省が2008年、認証制度を創設した。炭素(カーボン)を相殺(オフセット)する」という意味。

付で運営が成り立っている団体の支えにつながる。カーボンオフセットの考えが普及するきっかけにもしたい」と相乗効果を期待した。

問い合わせは県環境科学センター ☎098(875)5208。